

京大合唱団 同窓会通信

…第24号… 2015年11月

ホームページ：http://www.conet.ac.jp/~kuc-dosokai/ 同窓会への連絡・問合せメールアドレス：kucdosokai@gmail.com

会長あいさつ

松井 三郎 (S41)

京大合唱団同窓会合唱団と東京洛友ハーモニーが、10月24日東京都大田区民プラザで初めて東京での合同演奏会を開きました。400人を超える聴衆を迎えて、出演者が満足できた好演奏でした。引き続き同窓会総会を開き、過去4年の活動報告を行いました（参加者124名）。会の冒頭この4年に他界された会員（男声29名、女声9名）に対し黙祷を捧げました。代表幹事望月勝房氏（S43）が昨年11月脳出血で倒れられリハビリ中のためメッセージを貰いました。早い回復を祈っております。代表幹事代行の山下千之氏（S44）の司会で、活動報告を行い皆様から了承を得ました。年輩同窓会会員の減少は宿命ですが、新会員の入会が思ったように進まず、引き続き課題です。そのため同窓会費の取入減は、寄付金に頼っている状況です。皆さまのご理解とご協力をお願いします。同窓会活動として東北訪問を2013年、2015年2回行い、現地で温かい交流が持てました。新集会所が完成して現回の活動が元の吉田近衛で始まりました。11月7日京都大学ホームカミングデイの音楽プログラムに、京大合唱団同窓会合唱団が出演しましたが、その機会に新集会所を訪問しました。旧集会所過去100年の歴史を受けて今後100年活動できる立派な拠点になりました。また野村透氏（S35）が長年収集された貴重な楽譜資料を現回に寄付され、それを収納する書棚が準備されました。同窓会はこれら活動に必要な備品類を購入するため寄付を行い、引き続き現回の活動を支援していきます。新幹事会の代表幹事には石橋克巳氏（S48）が選ばれ、新しく大倉弘之氏（S51）が幹事に加わりました。会長は松井三郎が指名されました。課題解決にもう一期努力致しますので、皆さまのご協力ご支援をお願い致します。

代表幹事あいさつ

石橋克巳 (S48)

この度、京大合唱団同窓会の代表幹事に就任しました石橋でございます。前代表幹事の望月さんが凶らずも病に倒れ、後任として引き継いで行くことになりました。今は回復途上にはありますが、一刻も早く一緒に歌えるよう願うばかりです。

京大合唱団に在籍したのは、今から約半世紀も前のことです。しかしながら、今も合唱を続け、当時の仲間と共に歌い続けられるのは、京大合唱団に活動の原点があるからです。そして、何らかの恩返しをしたいとの思いから、代表幹事をお引き受けしました。同窓会というと、昔のことを懐かしむ活動が一般的です。このこと自体は否定しませんが、京大合唱団同窓会は、世代を超えて合唱組織を作り、新しい曲や新しい取り組みにチャレンジしていることに大きな魅力を感じています。

10月24日には、同窓会総会とともに、京都の同窓会合唱団と東京洛友ハーモニーという2つのOBを中心とする合唱団が東京で演奏会を持ちました。またこの6月には、2回日の東北訪問の中で、宮城県の小学校和福島市の医療施設を訪問し、郡山の男声合唱団「ドンカラック」の指揮者、代表との交流を行いました。わたしはこうした活動を更に進めて行くことが必要と考えています。

一方で、若い世代の同窓会入会が減少しています。その結果、同窓会が年々高齢化し、会員の総数も減少しています。こうした状況を改善していくことが喫緊の課題です。若い世代、特に京大合唱団で現役として活動しているメンバーに同窓会に興味を持ってもらうためには、現回支援をもっともっと積極的に行う必要があると考えます。その意味で10月24日の同窓会総会で規約が改正され、同窓会活動の目的に「現回活動を支援すること」が加わり、位置づけがより明確になったことは嬉しいと思います。

京大合唱団同窓会の発展のために、もとより微力ではありますが、皆様のお力を賜りながら進んで参りたいと思いますので、どうか宜しくお願いを申し上げます。

東京演奏会報告

10月24日(土)、同窓会員による東西の合唱団、京大合唱団同窓会合唱団と東京洛友ハーモニーが、初めて東京で合同演奏会を開きました。会場の大田区民プラザには、400人を超える聴衆が集まってくださり、かつて学生集会所のBOXで、新人を歓迎するのに歌った「How do you do?」から演奏会が始まりました。両団がそれぞれにレパートリーを披露しましたが、特に女声は、京都の女声に、東京の女声有志も独自に練習を重ねて加わり、およそ50人の充実した演奏になりました。合同演奏では愛唱歌の「バラード」を、両団からソリストを出して歌い上げました。京大合唱団のOB・OGにとっては懐かしく、また外部のお客様にとっては親しみやすく暖かい演奏会だったように思います。演奏会終了後、同じ大田区民プラザで同窓会の総会と懇親会も催され、絆を深めました。

●「どうなる事やら」

「岡ちゃん、何が出来る?」「じゃあ、チケットでも。」「では、印刷もお願いね。」「えーっ!!」この無茶振り! どうなる事やら。安く仕上げたいという言葉聞いて、美人出の安い事が大好きな友達に相談しました。「デザインが決まったら、ネットで印刷を発注すると安いわよ～。一応うちの旦那もデザイナーだけど。」とトントン拍子に進みます。でも、ここから小ワザをひねり出すデザイナーとスッキリ仕上げたいこちらのバトル開始です。曲名は楽譜通りに。目立て、下丸子! デザインのやり直し、内容の順番変更、文字サイズ、色を何通りも調整してもらいました。プログラムは秋らしく…しないで! 協力して下さった指揮者、京都・東京のスタッフ、デザイナーさん。皆様のおかげで、爽やかなプログラムと言っていただけるまでに仕上がりました。途中で妥協、挫折しなかった私達の顔本でした。(笑)

亀崎園子 (S47)

●今回注目の女声のステージについてご報告します。去年11月ごろ、女声指揮者の岡本慶子さんから、織田ゆかりさんを通して演奏会参加のお誘いがありました。「今日もひとつ」はとても魅力的な曲ですし、岡本さんの指揮で歌いたいという思いも強くありました。計26人の方が参加を希望されましたが、京都ですでに2年近く練習しておられたので、追いつくために東京での自主練習が必要でした。高橋利江さんと大石和子さんがご自宅を提供くださり、大石さんは指導もしてくださいました。さらに岡本さんは二度も東京へ来てくださり、より表現力豊かな演奏が出来るようにご指導くださいました。また京都メンバーを歓迎し、一緒にステージを造る気持ちを表す為にコサージュを手作りしました。東京洛友の多くの方々が手伝ってくださり、色ちがいのコサージュがステージを華やかに盛りあげてくれました。そして演奏は言うまでもなく大変良い出来ばえでした。

鈴木順子 (S50)

●東京演奏会の準備は、2014年秋から、ステマネ・世話人会グループの結成、毎月練習前のミーティングから始まり、演奏会場の選定・抽選という山場を越えて、京都との役割分担まで本番前日まで続きました。私は40年ぶりにステマネを務めましたが、4つの合唱団の110名を超える団員のゲネプロと本番の役取りは、会場の制約もあって予想以上に手間取りました。客席でのお出迎えとお見送りという演出は、観客の皆様にご一体感を持って合唱を楽しんでもらおうという世話人会の中からのアイデアでした。その実現のために「各合唱団の動き方」(動線表)を出演者全員に配布してゲネプロで予行練習を行い、本番ではほぼ満足のいく形で進行することができました。それぞれの合唱団の質の高い演奏力と、メーリングリストなどを介して夜毎と問わず総勢10数人で議論できるという京大合唱団伝統のチーム力によって、思い出に残る演奏会が実現できたことを幸せに、また誇りに思っています。

阿波村稔 (S47)

東京演奏会に参加しました

先日蒲田で開催された同窓会合唱団・東京洛友ハーモニーの演奏会に参加してきました。レパートリーは木下牧子のEnfance finieです。5年前の書き込みが残る楽譜片手に、まさしく過ぎ去りし時を追憶しながらのオンステージとなりました。昔の楽譜というのは置いてあるだけで普段なかなか聞きはしませんが、過去の自分の、拙く読みづらい書き込みを眺めるのも楽しい時間かもしれませんね。今回は1ステージですが、同窓会の方々は最大3ステージ+前日リハをこなしているようです。私が今の2倍、3倍の年齢になったときに同じことが出来るとは到底思えません。本当にお疲れ様でした。また是非とも一緒に歌いたいですね。

成瀬正一 (H24卒)

最初、Enfance finieを選曲した時は結構軽い気持ちでした。単純にいい曲だな、これ、歌えたらカッコいいくらいにの気持ちでした。2年間の練習の間に、様々なことを思うようになりました。この曲のテーマは、世代関係ないのではないかと。これこそ、同窓会合唱団のテーマとしてふさわしいと思うようになりました。多くの世代と共に歌いたい。その気持ちが高まり、私の周りのメンバーを探索しました。個々では歌い続けていた人も多かったのですが、京大合唱団のメンバーとして再び歌えるということは、彼らにとっても大きな喜び、モチベーションになったようです。普段は平均70歳くらいの場所に、30歳前後の歌声を加えるということほどのような化学変化がおこるか非常に楽しみでした。予想以上に、若いエネルギー、そして経験を積んだ重みみたいなものが見事に融合した演奏でした。再び集まれる場として、やはり同窓会合唱団という場所は重要なのだと思い、何時の日か帰ってくる仲間を待ちながらこれからも励んで行きたいと強く思いました。

太田茂之 (H19卒)

京大合唱団同窓会合唱団・東京洛友ハーモニー
東京演奏会

I なかよし青春組 女声合唱組曲
今日もひとつ
指揮: 国本聖子・ピアノ: 木下要子
京大合唱団同窓会合唱団(女声)・東京洛友ハーモニー(女声有本)

II 三善寛(編)
混声合唱とピアノのための山田耕輔による五つの歌
指揮: 上塚博久・ピアノ: 木下要子
京大合唱団同窓会合唱団

III 木下牧子 男声合唱組曲
Enfance finie
指揮: 太田茂之・ピアノ: 津路正美
京大合唱団同窓会合唱団(男声)

IV 長久保和明 混声合唱組曲
季節へのまなざし
指揮: 鈴木誠二郎・ピアノ: 大石和子
東京洛友ハーモニー

2015年10月24日(土)
13:00開場 13:30開演
大田区民プラザ大ホール
(金席自由)

大田区下丸子3丁目1番3号 Tel:03-3759-1611
<http://www.ota-bunka.or.jp/facilities/plaza/>
急ぎ多謝! 下丸子駅下車約1分
チケット/1000円
(プラザ大ホールチケットカウンターにて・当日券あり)

京大合唱団同窓会合唱団・東京洛友ハーモニー
〒107-8302 東京都港区赤坂2-1-1 赤坂サカエビル10F
TEL:03-3463-2400 FAX:03-3463-2401
E-MAIL: kyodai@kyodai.or.jp kyodai21@kyodai.or.jp
HP: www.kyodai.or.jp www.kyodai21.or.jp



アンコール風景 (指揮) 鈴木誠二郎 (S46) (ソロ) 村上広志 (S47) 石津一正 (S48) 木曾 真 (S45)

東北訪問報告

京大合唱団同窓会会員有志23名は、一昨年に続き2回目の東北訪問を実施し、現地との交流を通じ参加者は大きな感動と勇気を得ることができました。訪問、交流先：6月25日海岸線の被災現場、26日丸森町立館矢間小学校、27日北福島医療センター（いずれも歌で交流）、郡山市の男声合唱団「ドンカラック」。

石橋克己 (S48)

「きみにあえてよかったよ」

少年時代に敵機の機銃掃射や大空襲の焼夷弾をかいくぐり、後には阪神淡路大震災の惨禍を目の当たりに経験した私には、あの東日本大震災は大きな痛撃だった。当時アルマ・マータ・クワイアで震災犠牲者の追悼と被災者を励ます「ゆりの礼拝堂小演奏会」を開いたり、義捐金を送ったりしてきたが、今に至るも気持のすっきりとしないものが残り続けていた。この度、第2回目の東北訪問を企画、推進している幹事の方から声を掛けていただき、これに参加することになった。



初日の6月25日、宮城県南部の亘理町、山元町、福島県北部の相馬市の津波に洗われた海岸沿いの地域をバスで案内された。今はほとんど後片付けが終わり、ただただ広いばかりの平地の中で、ところどころに建設重機が点在している。一体何の工事をしているのだろうか。「千年河清を待つ」思いがする。この文を書いている当時、国立競技場の建て替え建設費が大問題になった。これから数年、わが国土木建築の重点が東京オリンピックに集中し、消費税率の再引き上げともあいまって工事費の高騰と人手不足に悩まされるであろうことを考えると、東北復興はますます遠のかざるを得ないことに心が痛む。

翌26日、宮城県丸森町の館矢間小学校を訪問。各学年1クラスずつ、全校生徒145人ばかりの小さな小学校だ。丸森町は風の「吹き回し」によって、福島原発からの放射能が飛来し、被災したということであったが、幸い生徒も先生もその表情は明るく、元気だった。私たちは数分ずつに分かれて各学年の教室で給食をともにしながら談笑し、心温まる時を過ごした。講堂で行われた音楽会では、半年前から生徒と先生が周到な準備をして私たちを迎えてくださり、心の通い合う楽しい集まりであった。「きみにあえてよかったよ」「いま未来の扉を開けるとき 悲しみや 苦しみが いつの日か 喜びに変わるだろう」と皆で一緒に歌ったときの、君たち小学生の顔が忘れられない。

増田 博 (S35)

「あなたは何をのこしただろう」という歌詞でおわる、「花は咲く」を6月木、宮城県南、阿武隈川のほとりの小さな学校で歌いました。涙が止まらなかったとあとで述懐する人が何人もいましたが、今も胸を潤してくれる温かい思い出です。東北の大震災から4年。まだまだ、という中にもう、の声も交じり、国政も岐路に、原発の再稼働へと舵を切られようとする中、合唱に集う思いは全く「みんなちがってみんないい」のだと思います。それが大事な民主主義。団内民主主義だから。

今回の演奏小旅行も一会員の願いが現地の会員のそれと合流することからスタートしました。源流のしずくがやがてちよろちよろ流れを成し、それなりに岸辺を潤す河川になっていったような3泊4日でした。全く不思議なまでに、幸運に恵まれた愉快で熱い旅になりました。参加者の心に残された何かはそれぞれ胸の中で潤れない泉のような何かになっているはずです。有頂天の白面白首でごめんなさい。私はその小さな被災地の小学校の卒業生でした。懲りないわたしは、2年後の6月の3回目を考えています。「起承転結」の転はちよっと見当がつかません。

これまで、来られてないあなたの声が欲しい。こんなこと、あんなことも、出来るかもしれない。なぜなら今年の10月、11月の総会、演奏会、懇親会はすごかった。あの場にいた人たちが、「遙かな友に」を、あなたを思って歌いました。届きましたか？ 合唱に限らず、「愛されたか？」より、「愛したか？」なのかもしれません。縁あってここにいる私たち、何を残せるでしょうか。歌いながら。

石動敬子 (S48)

◆ 新学生集会所、ホームカミングディ報告 ◆

○新学生集会所

新学生集会所については2015年6月完成し、順次クラブ・サークルの入居が始まり、現回は夏休みにかけて西部構内の仮設練習場から引っ越しを行いました。BOXとして2階にある3つの部屋を使うことができます。新たな環境で練習はスタートしましたが、BOX内部の整備は完全には終わっておらず現在も進められています。同窓会はこの環境整備について現回と意見交換しながら支援しています。

○第10回ホームカミングディ

京大合唱団同窓会は京都大学より全学同窓会の評議員に指名され、OB/OGの文化活動の代表的組織として役割を期待されていました。松井会長 (S41) はこれに応え大学側にホームカミングディ音楽会への出演を打診し、大学の組織決定を経、幹事会は同窓会合唱団に11月7日 (土) 第10回ホームカミングディ音楽会への出演を委嘱しました。当日の演奏プログラムはつぎの通りです。京都大学学歌 (男声) 三善晃「山田耕筰による五つの歌」(混声) なかにしあかね「今日もひとつ」より「秋のあじさい」、「今日もひとつ」(女声) 琵琶湖周航の歌 (男声)

磯部優「遥かな友に」(混声) (混声・男声指揮：上床博久 (S44)、女声指揮：岡本慶子 (S52)、ピアノ：木下亜子、出演45名)。なお大学から次回第11回ホームカミングディは2016年11月5日 (土) 開催との連絡を受けています。

○新学生集会所見学会

音楽会終了後、OB/OGおよそ80名は新学生集会所に集合し、現回の案内によりBOXや地下に設けられた大きな多目的スペースなどを見学しました。玄関前で撮影した集合写真をご覧ください。

○お祝いの会

大学は音楽会への出演を謝し、その夜、楽友会館の大会議室を提供してくれました。現回メンバーを含めおよそ70名が参加し、お祝いの会を開催しました。主なプログラムはつぎの通りです。あいさつ：松井三郎 (S41)、乾杯発声：高橋 成 (S29)、現回状況報告：間瀬冬樹 (総務)、現回への楽譜寄贈紹介：野村透 (S35)、東京演奏会の紹介：高橋利江 (S28)、愛唱歌、中締め：石橋克己 (S48)、進行役：山下千之 (S44)。最後は参加者全員が大きな輪をつくり「遥かな友に」を歌ってお祝いの会を終えました。

(石動正和 (S48))



新学生集会所記念撮影 (撮影：笠原浩 (S57))

「京大合唱団同窓会名簿」改訂（2016年版制作）について

2011年6月の名簿改訂から5年が経過しようとしています。会員名簿は同窓会員相互の交流、同窓会から会員への連絡など同窓会活動に必要なものです。会員から適切な範囲で提供頂いた情報を基に最新版を制作しますので、ご協力頂きますようお願い致します。

1：提供して頂きたい情報

この通信には「名簿情報連絡票のはがき」が同封されています。はがきに記載された情報に加筆・訂正があれば、記入のうえ返送してください。なお加筆、訂正がない場合も改訂の必要がないことが確認できますので返送してください。期限：2016年2月29日（月）

2：名簿の送付

名簿制作には多くの会員有志の協力と多くの費用がかかります。この視点から同窓会費を納入されている会員（2016年時点で、2012年まで会費を取めている会員）には無料とします。「同窓会名簿の要否」には、「名簿情報連絡票のはがき」の「欲しい・要らない」のいずれかに○をつけてください。

3：連絡先不明者の消息連絡のお願い

連絡先不明の方が多数おられます（別紙）。もし消息をご存知の方がおられたら、下記までお知らせください。
メールアドレス：ishibashi-ka@river.ocn.ne.jp
電話・FAX 075-957-9174 〒617-0846 長岡京市泉が丘9-12 石橋克己

4：名簿情報の追加変更

新名簿発行後の追加変更情報については、転居、結婚などが生じたときお知らせください。年1回発行する「追加変更名簿」で紹介します。

京大合唱団同窓会会員動静

近年、休会者、連絡先不明者などが増加しており、実質的な会員数の減少が続いています。特に2000年以降卒団生の加入が少なく、新卒団生への対応が急がれています。

2015年9月末日現在						2000年以降の卒団生の動き				
卒団生	会員	休会者	連絡先不明者	物故者	退会者	卒年	総数	会員	休会	住所不明
2704	1096	560	551	212	252	2000	15	5	2	8
前回総会時（2011年9月）報告						2001	25	6	6	13
2586	1224	428	518	175	242	2002	18	2	12	5
						2003	29	9	12	8
						2004	25	7	12	6
						2005	29	8	13	8
						2006	19	3	14	2
						2007	22	10	7	5
						2008	15	2	7	5
						2009	24	5	0	6
						2010	23	8	0	7
						2011	19	9	—	4
						2012	21	1	—	10
						2013	24	1	—	3
						2014	26	0	—	1
						2015	19	0	—	4
						計	353	76	85	95

同窓会規約の改正

2015年10月24日総会において、現団への支援を活動の目的として明確化するため、規約第2.(目的)の一部改正を提案し承認されました。ここに改正後の全文を示します。

【京大合唱団同窓会規約】(2015.10.24改正)

前文

京大合唱団は、合唱およびその他の諸活動を通じて、たえず清新な雰囲気を保ち、誠実な意欲を燃やし続けている。

団員の交代変動は年々免れないところであるが、団の中で育てられた人間の結合は、単に団を離れ生活と環境を異にするだけで絶たれるべきではない。我々は共に現代に生きるものとして、常に発展してやまぬ団との有機的なつながりにおいて、かつて団を通じて得た明るい平和な雰囲気を保ち、さらにそれを我々の周囲に層推し進めることの必要かつ有意義なることを思い、ここに京大合唱団同窓会を組織してその足取りをさらに堅実なものとし、あわせて現団の層の飛躍発展に寄与すべきことを期す。

第1.(名称)

この会を京大合唱団同窓会と称する。

第2.(目的)

この会は、前文の趣旨に基づき会員相互の結びつきをはかり、これを強め発展させるとともに現団活動を支援することを目的とする。

第3.(会員)

1.入会

- ①京大合唱団を卒団した人。卒団は各年度における現団の卒団生名簿による。入会に際して卒団者は、連絡先等を幹事会に知らせることとする。
- ②京大合唱団に在籍したが、現にこの会の会員になっていない人のうち、入会を希望し、連絡先等を幹事会に知らせた人。
- ③その他この会の幹事会が適当と認め推挙した人。

2.退会

会員はこの会の幹事会へ届け出を行って退会することができる。

第4.(総会)

この会の最高機関として総会をおき、定期総会を原則として4年毎に開催する。他に必要に応じて臨時総会を開くことができる。

第5.(役員)

- 1.この会に次の役員をおく。役員は総会において選出し、その任期は原則として次の定期総会までとする。再任は妨げない。なお事情により在任期間中に役員を選任・交代が必要となる場合は、幹事会がこれを承認し、会員へ通知する。

①会長 1名

②幹事 この会の運営に必要な人数

③監事 1名

- 2.会長は、この会の会務を総括し、総会を招集する。
- 3.幹事は、行事の計画・実施、会費の徴収、会計処理、会計報告、会員管理・名簿の発行、情報サービスの提供、同窓会通信の編集企画・発行、その他を行うなど、この会の運営にあたる。
- 4.監事は会計年度末ごとに会計監査を行う。
- 5.前項に掲げた会の運営のため、幹事の互選により運営を統括する代表幹事を定め、他の幹事については担当すべき役割を決める。
- 6.会長及び幹事によって幹事会を構成する。幹事会の運営要領は幹事会の取り決めによる。幹事会は、議事内容により現団顧問の幹事会への出席を随時要請することができる。

第6.(会計)

この会の会費は、会員1人年額1000円とする。なお、会員が77歳(本人の申告による)に達したとき、その年度までの会費を完納している場合は、長年の協力・貢献に感謝して、次年度以降、会費は無料とする。

第7.(会計年度)

この会の会計年度はその年の4月1日から翌年3月31日までとする。

第8.(補則)

- 1.この規約を改正するときは総会において出席者の3分の2以上の賛成によって行う。
- 2.この規約に定めがない事項については、幹事会の取り決めによる。

以上

お 知 ら せ

新集会所へ楽譜を寄贈しました

私は京大合唱団に、「我らここに集い、結ぶ友同心や踊る～」と迎えられ、「世界をつなげ歌の輪で～」と教えられてきました。男声指揮2年、混声指揮4年、その後もアルマ・マータ・クワイアの指揮や多くの混声合唱団の選曲を担当し、常に団員にも聴衆にも最適で喜ばれる曲探しに腐心してきました。こうして収集した古今東西の合唱楽譜は自宅が溢れる程に積み上がりました。私にとっては貴重なお宝ですが、処分に困っておりましたところ、京大合唱団の練習場が改築され、広くなる機会に同窓会がキャビネットを寄贈するので収納する中身を募集しているとの情報を入手しました。そして幸いにも松井同窓会長、現団の中村和輝氏のお世話で引き取っていただく事が出来、宅配便大型5箱分をお届けしました。今後は、全国で活動中の同窓の皆様がこの楽譜を活用され、新装の広い練習場で所属合唱団が現団との里帰り演奏会を開かれる事を夢見ています。

野村 透 (S35)

第17回関東地区シニア同窓会のご案内

大地の風情が冬の到来を告げています。みなさまにはお変わりございませんか。早や一年が巡り来て、恒例の関東地区シニア同窓会は17回目を迎えます。下記の要領で開催致します。

- ・日時：2016年1月11日（月、成人の日）、12時～16時
- ・場所：学生会館（神田錦町 Tel:03-3292-5936）都営 三田線神保町駅A9出口
- ・会費：男性1万円、女性9千円

今回は原則、昭和53年以前卒団のみなさまで、関東一都六県にお住まいの方々と、これに隣接する各県のほか、他の遠隔地在住者にもご案内を差し上げました。今年104歳になられました聖路加国際病院の日野原重明先生からは、連続9回目のご出席のご返事を頂いております。「生きること」、「いのち」のお話がまた聞けることでしょうか。

時代を超えて、語って歌って浸る和気藹々の空気がみなさまのご来場をお待ちしています。遠隔地のみなさまでご興味をお持ちの方は、申込期限を若干延長し12月18日までに下記へご連絡下さい。初参加のみなさまを大歓迎いたします。

伊藤俊明 (S35) Tel:042-736-1385 Eメール:t-itoh@hkg.odu.ne.jp

京大合唱団定期演奏会のご案内

演奏会の案内ちらしを同封しています。聞きに行かれる方は、当日会場の同窓会受付に来ていただければ招待券をお渡します。

編集後記

その瞬間のどよめきは今も鮮明なのですが、あの日の「新宿村」というビル街の一角でした。翌日の演奏会向けのレッスンは終盤。合同の混声で、例によって「列目」、「列目」とコンダクターの厳しい指が順に四列目に及んだ時、ぬぼたまの闇が底光りするようなひとかたまりの音が聞こえてきたのです。一回、おお、と振り向けば、若い、十人程の後輩たちでした。男声指揮の太田君の仲間が合流してくれたのでした。初孫誕生のような歓喜につつまれ、翌日に向けて、大きな聖火が灯されたようでした。

翌日の総てはお蔭様の演奏であり、総会でした。二週間後の京大ホームカミングデーも、東京での歓びの延長のように。新学生集会所前で参加者全員の記念撮影後、現団の案内で地下一階から三階まで見学、楽友会館での乾杯でした。七十数人が手に手をつなぎ「遥かな友に」を歌い、散会となった時、四世代同居が叶ったような喜びにつつまれました。愛唱歌といっても「紀の国」、「バラード」以外は世代間にかかなりの違いがありそうでしたが、宴もたけなわの「十二人の盗賊」、「パリの若者の歌」などに大興奮、女声までかつてのようにメロディーを高らかに歌い、詰め襟、学生服のあの頃の意気を吐きました。

「戦争法案」が強行採決され、喜びだけとはゆかぬ不安や痛み、怒りもないまぜに年の暮れを迎えています。同窓会のみなさまと割り上げ、積み重ねたあれこれに感謝し、これからもと存じます。

またお会いしましょう。

石動敬子 (S48)